

はるかぜ書房の新刊
令和元年 6 月中旬発売

夜の扉のなかにあるもの

著者：蓮実里菜（はすみ・りな）

1988 年、愛知県生まれ。大学 1 年生の 19 歳の時、海外渡航歴ゼロながら「アメリカの大学に行きたい」と思うようになり、大学を 1 学期で中退し、留学資金を貯めるために六本木のクラブでホステスをはじめ。21 歳でナンバーワンになり、3 年弱で留学資金として 1300 万を貯め、22 歳で 19 歳の夢を追いかけて単身渡米。渡米時の TOEIC380 点だったものの、紆余曲折を経てコロンビア大学に進学・卒業する。専攻は社会学。卒業後は外資系の経営コンサルタントとして勤務。

——そんな異色の経歴をもつ著者が、かつて働いていた六本木ホステスの世界を回顧し、丸裸に分析する、それが本書だ。



〈拝啓、昼間の社会様〉—— その仕事って、そんなにダメですか？

え、私がナンバーワン？
頭がよくなないとやれないけど、頭がよくなると、失うもの
「夜働く」に向けられがちな視線と自分の体感の間の距離
やめたあとの怒濤の変化
「空間」の持つ魅力と魔力

元 No.1
ホステス、
コロンビア大卒、
外資系コンサルが
解き明かす
六本木の世界

リアルな体験をのりこみ、
社会的なエンタテインメントを
提供する

はるかぜ書房株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川 1 丁目 9 番 7 号 1015 号
E-mail: info@harukazeshobo.com Website: www.harukazeshobo.com

ご注文 申込書	注文 数 冊	はるかぜ書房株式会社	
		夜の扉のなかにあるもの	
		B6 版・並製 208 ページ 定価： 1600 円 + 税 ISBN:978-4-909818-05-8 C0036 ¥1600E	
ご注文は JRC へ		FAX:03-3294-2177 TEL:03-5283-2230	

※返品条件付き注文扱い